

地域連携クリティカルパスってなあに？



第6号 2007.8

発行:滋賀県立リハビリテーションセンター
〒524-8524 守山市守山5丁目4-30

(成人病センター内)

TEL:077-582-8157 FAX:077-582-5726

HP:http://www.pref.shiga.jp/e/rehabili/



8月2日研修会の様子

地域連携クリティカルパスとは、地域で切れ目のない医療サービスを提供するために、患者さんの視点に立ち、疾病の回復過程に沿った一連のサービスを体系化し、道筋(=path)を示すものです。患者さんご自身も治療に参加し安心して自宅へ帰っていただけるため使用されています。平成18年4月に「大腿骨頸部骨折」で地域連携クリティカルパスを適用した場合に診療報酬が認められており、今後、他の疾患への活用も期待されています。

県では保健所を中心とした検討会議の開催など、各地域の状況に応じた地域連携クリティカルパスの作成がすすめられています。

その第一歩として、8月2日に、国立病院機構熊本医療センターの野村一俊先生による「地域連携クリティカルパス研修会」が県庁で開催され、医療機関などから約170名参加されました。内容は、地域ネットワークづくりからはじまること、地域での医療連携において有効な手段であること、地域連携クリティカルパスの作成が目的ではなく使用結果を繰り返し評価・見直すことが大事であることなどを話されました。

今後、住民さんが一生安全に住み慣れた地域でいきいきと生活するための地域ネットワークづくりにつなげていく上でも、地域連携クリティカルパスは重要であり、リハビリテーションセンターとしても医療・保健・福祉をきめなくつなぐための活動をしていきたいと考えています。
(ひろべPT)

フライングディスク 301人が飛ばした！



今年も第45回滋賀県障害者スポーツ大会が大津市皇子山総合運動公園で5月20日の陸上競技を皮切りに開催されています。滋賀県各地で6競技(陸上、フライングディスク、ボウリング、アーチェリー、水泳、卓球)行われています。

今回はその中から6月17日に竜王町総合運動公園ドラゴンハットで行われたフライングディスクを見学してきました！

フライングディスクの参加者は昨年の260名から300名となり、障害者スポーツの中でも人気急上昇中の競技です。会場には活気があふれ、その関心の高さを感じました。

フライングディスク競技はアキューシー(輪にディスク

を通す)とディスタンス(遠くにディスクを飛ばす)の2種目となっております。障害者区分はなく、参加者は年齢、視覚・聴覚・肢体・知的・内部障害の区分なく同じグループで競技を競いますが、ディスタンスについては性別と座位・立位の姿勢に分けて競います。

大きな設備や道具が必要でなく、みんなで気軽に競技を始められることや、同じ記録で競い合えることも、この競技の魅力なのかもしれません。

体力や機能の維持改善はもちろんのこと、仲間づくりや生きがいづくりをはじめとした生活の質の向上へ向けた、リハビリテーションとして、今後も注目していきたいと思います。

この大会は滋賀県と滋賀県障害者スポーツ協会の運営で行われており、来年大分で行われる第8回全国障害者スポーツ大会(平成20年10月11日~13日)の選考記録会を兼ねています。今年は秋田で10月13日~15日に開催されます。全国大会での滋賀県勢の活躍が楽しみです
(おおえPT)



高次脳機能障害者支援センター

今回は和み第3号で紹介させていただいた草津市にある「むれやま荘」の中にある、「高次脳機能障害者支援センター」に取材に行ってきました。

Q1 高次脳機能障害者支援センターって何をすることでですか？

交通事故や脳卒中などの病気で脳にダメージを受けて、認知機能障害や情動障害の為に社会生活が難しくなる人に対して、相談や支援をすることで。

Q2 具体的にはどんなことをしていますか？

どこからも説明を受けないまま何十年も高次脳機能障害の問題を抱えている人が多いので、通える医療機関やサービスなどの情報提供をしています。次に受診や行政窓口での対応などで、当事者や家族だけでは解決できない場合は、同行して支援につなげることをしています。ほかには、障害の受け止め方についての助言指導や、家族会のサポートをしています。また、高次脳機能障害の問題を知ってもらえるよう啓発していくことも大事な仕事になっています。

Q3 これからの目標について教えてください

高次脳機能障害者の人たちが社会に参加していくのに必要なサービスや、周りの理解がまだまだ足りません。一つ一つの相談を親身に受けながら、ほかの地域や機関でも高次脳機能障害の問題に取り組んでいけるようなサポートをしたいと思っています。

高次脳機能障害に対する思いの強さと、それをしっかりと支援に結びつけているパワフルさに、インタビューも力をいただきました。リハセンターもケース連携を通していつもお世話になっています。ありがとうございました！
(わたなべCP)



相談員原田さん/コーディネーター中川さん
(連絡先) 077-565-0294

● おしらせ ●

平成19年度
滋賀県リハビリテーション連携学会研究大会
が開催されます！

12月9日(日) ピアザ淡海

大会テーマ 「共に暮らす地域社会 ～その人らしさの相互理解～」

基調講演 「誰もが安心して住み続ける社会を目指して」

澤村 誠志 氏(兵庫県立総合リハビリテーションセンター)

福祉用具機器展示会、演題発表あり！

現在、参加者、発表演題、協賛金の募集中！

ぜひご参加ください！

詳しくはリハビリテーションセンターホームページをごらんください



リハビリテーション病棟では季節ごとにさまざまな行事を行っています。去る8月23日には夏祭りを開催しました。空のペットボトルとビーチボールを利用したボーリングや、景品をかけての輪投げ大会、他にもヨーヨー釣りなどを行いました。日頃病棟で共に過ごすみんなやご家族の方々と一緒にリフレッシュでき、夏の楽しいひとときを過ごすことができました。今後も四季を感じられる素敵なイベントを行い、みなさんにご報告できたらいいなと思います。

(ほりえNS)



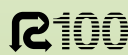
滋賀県内のちよつとリハビリ ご案内

日時・場所	タイトル・内容
H19年9月22日(土) 13:00~16:00 栗東コミュニティセンター	「閉じこもりに 喝！」 ヘルマンハーブ・車いすレクダンス・展示 ※詳しくは湖南地域広域支援センターまで！ 077-552-1221(代)
H19年9月28~29日 13:00~ 琵琶湖グランドホテル	脳外傷友の会 第7回全国大会2007 in しが 「私たちは働きたい この街で暮らしたい」 ※詳しくは 077-522-7566 (名鉄観光)
H19年10月23日(火) 13:00~ 大津プリンスホテル	第10回全国脳卒中者の集い 滋賀大会 「さあ外へ 仲間とともに挑戦しよう！」 ※詳しくは「淡海の会」まで077-511-5166
H19年11月10~11日 9:30~ 長寿社会福祉センター	全国自助具フェアラム2007 福祉用具展示相談会 「ちょっと知って なっとく、便利！」 ※詳しくは福祉用具センター 077-567-3907

編集後記

みなさんの夏の思い出はなんですか？私は『びわく2大花火大会』にいきました。日本の夏を満喫し琵琶湖の素晴らしい景色を堪能しました。いつも見ている湖もこの時ばかりは感動しまあねー。県内の素敵な情報があれば、教えてください。

(うめいPT)



古紙配合率100%再生紙を使用しています

知ってた？ しよこ ユニバーサルデザイン

名前 食品容器イージーボックス

ふたの角を真上から手で軽く押すことでポンと簡単にあけられる仕組みになっています。指先に力が入りにくい人でも手のひらで押すことで開閉ができます。密閉性は低いので乾物やお菓子などをいれるのが良いと思いますが、軽いと滑りやすいので容器の下に滑り止めがついていれば、さらに良さそうに感じました。

